

滝沢市立滝沢小学校

校報

# 滝小の風



【学校教育目標】

かしこい子

心豊かな子

すこやかな子

第4号 令和6年5月30日 文責 阿部 拓也

## 学習も集団行動もキラリ輝く姿！楽しんでたくさん学んだ修学旅行…

5月22日・23日の2日間、6年生の子ども達は、岩手県内を巡る修学旅行に出かけました。

1日目は、滝沢小学校から東北縦貫自動車道・釜石道を経由して沿岸の被災地を訪ねました。最初に震災学習列車に乗り、釜石駅から盛岡駅まで車窓から海岸の様子を見たり、ガイドさんから震災の様子についての説明を聞いたりしました。次に、いわてTSUNAMIメモリアルにて震災の被害の状況や復興の様子を学習しました。その後、「奇跡の一本松」を見学しました。そして、宿泊地の「浄土ヶ浜パークホテル」へ移動。ホテルの外観を見た子ども達は、「すご〜い」「やったあ」と感嘆の声を上げ、拍手をして喜んでいる子もいたようです。ロビーや部屋の窓から浄土ヶ浜が一望できる絶景にテンションが上がっていた子ども達、豪華な夕食に食欲倍増で、ご飯をおかわりする子がたくさんいました。また、友だちと部屋で過ごしたり、広いお風呂に入ったり、楽しいひとときを満喫していました。

2日目は、宮古市田老地区で、防災について学びました。子ども達は、世界最強と呼ばれていた防潮堤やたろう観光ホテルに上り、ガイドさんから震災の被害や避難の様子を聞きました。実際に現地で見たり聞いたりすることで、その被害の大きさや復興の大変さを肌で実感していたようです。

最後は盛岡の岩山パークランド。晴天の中、絶叫アトラクションに何度もチャレンジしたり、ほのぼの系アトラクションを楽しんだり、時間いっぱい楽しんでいました。

今回の修学旅行を通して、子ども達は改めて東日本大震災の被害の状況や復興の様子を学ぶとともに、三陸が誇る自然の素晴らしさを再発見することができました。見学地で真剣に学び、全力で活動し、思いっきり楽しんで過ごした6年生、修学旅行の思い出は、大切な宝物となったことでしょう。



【防潮堤に上り黙とうをする様子】



【震災学習列車で説明を聞く】



【大船渡プラザホテルにて昼食】



【伝承館で説明を聞く】



【田老地区防潮堤にて説明を聞く】



【奇跡の一本松を見学】



【ジェットコースターに絶叫】

## 地域との連携強化を目指して…コミュニティスクール発足！

5月15日（水）に第1回学校教育振興協議会を開催しました。これは、教育振興運動の推進を含めた様々な取組について、広く地域からの支援や協力をいただき、学校運営の充実及び教育力の向上を図ろうというものです。

この日は、学校教育振興協議会の委員の皆さんに子ども達の授業の様子を見ていただき、会議では校長から、今年度の学校の経営方針や児童の様子、今後の予定などについて説明しました。委員の皆さんからは、「子ども達のあいさつが良くなってきた」「学校ボランティアに前向きに参加したい」「地域が学校を支えるために自治会にもお願いしては…」など、たくさんのありがたいご意見をいただきました。

昨年度からコロナによる制限も緩和され、学校と地域との交流や連携活動も少しずつ広がっていきこうと考えています。この学校教育振興協議会を軸として、学校と家庭や地域の連携の更なる強化を図り、教育活動を進めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。今年度の学校教育振興協議会の委員さんをご紹介します。

【滝沢小学校教育振興協議会委員】(敬称略)

No	役職	氏名	備考
1	会長	小宮山 晴夫	地域学識経験者
2	副会長	佐藤 正和	P T A会長
3	委員	佐藤 幸子	元村さんさ代表
4	委員	盛内 由紀子	元村保育園園長
5	委員	及川 博文	滝沢中学校校長
6	委員	三上 潤一	ふるさと交流館館長
7	委員	上川 幸男	スクールガード牧野林中央
8	委員	井上 松悦	元村北自治会会長



【第1回学校教育振興協議会の様子】

No	役職	氏名	備考
9	委員	大本 義則	あずみ野自治会会長
10	委員	釜澤 常矢	牧野林中央自治会会長
11	委員	照井 カツエ	主任児童委員
12	委員	駿河 俊也	地域協力者(スイカ栽培指導者)
13	委員	藤澤 英輝	社会教育指導員
14	委員	太野 光子	元村西民生委員
15	事務	佐藤 樹理	主任児童委員

## JUあいさつ運動…！小中学生のあいさつが響き渡りました！

5月9日（木）に今年度1回目の「JUあいさつ運動」を行いました。この取組は、小学生と中学生が一緒にあいさつ運動を行うもので、コロナ禍は中断していましたが、昨年からの活動を再開しました。

今回は、中学校の生徒会（2・3年生）と小学校の児童会執行部・応援委員会（5・6年生）が小学校の中庭で向かい合ってあいさつを行いました。中学生の笑顔で元気にあいさつをする姿を手本として、執行部や応援委員会の児童も元気にあいさつをしていました。また、その間を登校する児童もあいさつの勢いに押されてか、その空間一帯に元気なあいさつが響き渡っていました。この取組は、あいさつをする場所を小学校と中学校で交互に変え、月1回のペースで進めていきます。この取組を通して、小中学生間はもちろんのこと、地域にもあいさつの輪が広がっていくことを期待しています。

また、今年度も小中学校連携活動として「応援見学」を実施し、これから「陸上指導」や「合唱指導」も行っていく予定です。ぜひ、中学生の姿を手本としたり、アドバイスを受けたりすることを通してレベルアップを目指したいと思います。



【JUあいさつ運動：中学生】



【小中向かい合っでのあいさつ運動】